

## 申し込み方法

受講には事前申込が必要です。  
会場受講とオンライン受講どちらかを選択してください。

### 受講料

・会場受講（アーカイブ動画も視聴いただけます）  
定員25名：2,000円/回（うち学生5名：500円/回）

### ・オンライン参加

1,000円/回（学生：無料）ご入金を確認後、配信前日までに参加用URLをご案内いたします。

### お申し込み方法（会場受講・オンライン受講共通）

お申し込みの方法は3つあります。いずれかの方法でお申し込みください。

#### 1) チケット販売サイト Peatix から申し込む

クレジットカードやコンビニ決済で受講料を支払うことができます。各回ごとに、受講方法（会場 or オンライン）を選択してください。  
<https://tanpoponoye.peatix.com/>



#### 2) WEBフォームから申し込む

下記URLから申込者情報をご入力の上受講料をお振込みください。振込手数料はご負担願います。振込用紙の受領書をもって領収書にかえさせていただきます。通信欄に「振込内容（内訳）」をご記入ください。

※申込み者様のお名前でお振込みください。法人名や他のお名前ですとお振込みが確認できない場合があります。

<https://forms.gle/LehgvUhZpqWKWpoA9>



#### 3) メールまたはFAXから申し込む

チラシの申込欄にご記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。その後、受講料をお振込みください。

### 銀行振込み

南都銀行 西ノ京支店（普通）2078235

または、ゆうちょ銀行 一〇九（イチゼロキユウ）店（当座）0007812

名義：一般財団法人たんぼの家

\*通信欄に「ニュートラの学校受講料」とお書き添えください。

### 郵便払込み

01080-6-7812 加入者名：一般財団法人たんぼの家

\*通信欄に「ニュートラの学校受講料」とお書き添えください。

### ■ 申込締切

各回の開催前日12:00までにお申し込みください。

\*ただし会場受講については先着順で定員になり次第締め切ります。

お問い合わせ先



〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 一般財団法人たんぼの家  
Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501 E-mail: nt@popo.or.jp

表紙写真：(左上)衣笠名津美、(左下)河合秀尚、(右下)西岡潔

### ■ おことわり

\*やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。

\*お預かりした個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ使用させていただきます。

\*ご入金いただいた受講料は、原則としてご返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

## 関連企画

### ニュートラ展(仮)

国内の様々な地域で、伝統工芸の可能性と障害のある人の新しい仕事づくりを目指して取り組んできた活動を紹介する展覧会。ものとおしてプロセスや関わる人の存在も伝えます。トークや来場者との交流の場をつくり、これからの福祉と伝統のものづくりを考えます。

東京 会期：11月3日(木・祝)～6日(日)

会場：(PLACE) by method

東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号

京都 会期：12月5日(木)～25日(日)

会場：京都伝統産業ミュージアム

京都市左京区左京区岡崎成勝寺町9番地の1  
京都市勤業館みやこめっせ 地下1階

助成：日本財団「障害のある人の表現と伝統工芸の発展と仕事づくり」

ニュートラWEBサイト  
<https://newtraditional.jp/>



## 申し込みフォーマット

FAX:0742-49-5501

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| 氏名(よみ)                   | ご住所(〒 )    |
| 電話番号                     | E-mailアドレス |
| 所属(任意)                   |            |
| この情報をどこでお知りになりましたか(自由記述) |            |

受講プログラム 下記より受講希望のプログラムにチェック✓をお願いします。

| プログラムA                | 会場受講                     | オンライン受講                  |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 10月22日(土)「素材へのアプローチ」  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10月23日(日)「販路の開拓」      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11月12日(土)「価値の伝え方」     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11月13日(日)「デザイナーのかかわり」 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12月10日(土)「労働と対価」      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

| プログラムB                 | 会場受講                     | オンライン受講                  |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 11月4日(金)「フィールドワークデザイン」 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11月5日(土)「ものを買う動機」      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12月16日(金)「ネイティブの可能性」   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12月17日(土)「福祉と玩具」       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12月20日(火)「循環・伝統と再生」    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |



NEW TRADITIONAL

# の学校 ニュートラ

福祉と伝統のものづくりを  
結び直すニュートラの学校、  
はじまります

福祉×伝統工芸の可能性に着目し、新しいものづくりのあり方を実践するプロジェクト「NEW TRADITIONAL」(以下、ニュートラ)。

日本の福祉の現場では、これまで陶芸や和紙、染織、木工など、工芸の文化が根つき、さまざまなものづくりに取り組んできました。一方、生活や価値観の多様化や自然環境もふくめた社会の大きな変化のなかで、今までのものづくりを見直す時期にきています。

価値のあるものづくりとはなにか、そもそも価値とはどういうことか、生活を豊かにするようなものはどんなものか、伝統のものづくりを今の生活にいかすことができるか、手応えを感じることができる仕事とはどのようなものか。

ニュートラの学校では、あらためて、自分たちがつくりたいもの、届けたいもの、伝えたいことを考え、福祉のものづくりの価値を高めていくために、学び合う場をつくります。ぜひ、ご参加ください。

主催：文化庁、(一財)たんぼの家/協力：Good Job!センター香芝 | 文化庁委託事業「令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業」



### 受講料

会場受講：25人/受講料2,000円(うち学生5人/受講料500円)  
オンライン：受講料1,000円(学生無料)

\*会場でのご参加は、定員になり次第、締め切りとなります。\*プログラムAの対面では、講師・受講者同士でのワークショップも行います。  
\*オンラインでは当日ライブ配信をします。また、アーカイブ動画の配信は2023年3月末まで予定しています。

### 対象

・福祉の現場で伝統のものづくりや地域の文化をいかした仕事にかかわる人たち、今後かかわってみたいと思う人たち。より価値の高いものづくりに取り組みたい人たち。

・デザイナーや地域文化の振興などにかかわる人たち(企業、行政含む)、伝統工芸の担い手の育成の必要性や継続させるために取り組んでいる人たち。

### 会場

プログラムA | Good Job!センター香芝  
(奈良県香芝市下田西2丁目8-1)  
プログラムB | method(東京都)または、  
京都伝統産業ミュージアム(京都市)



## 「福祉の課題から考える」コース

会場: Good Job! センター香芝

何を変えることで、福祉のものづくりはもっとよくなるのでしょうか。プログラムAでは福祉現場の課題にしっかりと向き合い、新しい可能性をひらいてきた実践者とのづくりの価値を高める方法を学びます。

1部

13:30~15:30 | 会場受講+オンライン |  
講師からのレクチャーののち、ディスカッション

2部

15:45~17:00 | 会場受講のみ |  
ワークショップ形式で講師、受講者とテーマを深める

1

### 素材へのアプローチ

10月22日(土)

講師: 木下 浩佑 (MTRL/Fab Café KYOTO マネージャー)  
藤井 克英 (Good Job! センター香芝 企画製造ディレクター)

伝統のものづくりは、素材に直接触れ、その土地の自然や文化を知ることでもあり、その経験がものをつくる喜びでもあります。このプログラムでは地域にある素材を知り、足元の文化や資源を見直し、製品につなげる方法や、ものをつくる上で今必要とされる環境への配慮や新しい素材から生まれるものづくりの新たな可能性も学びます。

2

### 販路の開拓

10月23日(日)

講師: 前川 雄一、前川 亜希子 (HUMORABO (ユーモラボ))

「福祉とあそぶ」をテーマに活動するデザインユニットHUMORABO。東日本大震災後に、宮城県南三陸町にある「のぞみ福祉作業所」と出会い、NOZOMI PAPER Factoryの活動を続けています。デザインから販売までをディレクションする再生紙の手漉き和紙「NOZOMI PAPER®」の事例を通し、使われ方を考え、使ってもらいたい人をつくるものづくりと販路の開拓を学びます。

3

### 価値の伝えかた

11月12日(土)

講師: 多田 智美 (編集者、株式会社 MUESUM 代表、株式会社どく社共同代表)  
高橋 利明 (建築家、うだつ上がる店主)

福祉の現場のものづくりの根底にある大切なものをどのように伝え、共感をひろげていくことができるのでしょうか。伝えることや発信することの意味、伝えるための媒体や機会をどのようにつくっていくかを編集者の多田さん、徳島にて「複合文化市庭 うだつ上がる」を運営する高橋さんと考えます。

4

### デザイナーのかかわり

11月13日(日)

講師: 高橋 孝治 (デザイナー)  
川崎 富美 (デザイナー)

福祉施設にデザイナーがかかわることで、新たな展開が可能になることがあります。愛知県の常滑焼、鳥取県の因州和紙など、産地での伝統のものづくりと福祉施設をつなぐお二人から福祉施設の何をいかし、どのように取り組んできたかをお聞きします。福祉施設の人、材料、道具、資金、工程、仕組みなどをひもとき、それぞれをいかしあうものづくりを考えます。

5

### 労働と対価

12月10日(土)

講師: 石丸 徹郎 (株式会社フォーオールプロダクト(ミナトマチファクトリー)代表取締役)  
高野 賢二 (NPO法人 La Mano クラフト工房 La Mano 施設長)

福祉の現場では「工賃向上」というキーワードもきかれますが、一体いくら稼ぐことができれば幸せなのでしょうか。また販売価格としても労働の対価としても適正な価格はどのように決めていったらいいのでしょうか。質の高い商品を発信する2つの施設の事例からお金についてあらためて考えます。

## 「これからの伝統を考える」コース

日にちによって会場と時間が異なりますので、ご確認ください。

生活に必要とされる伝統工芸やものづくりは何か。作り手や使い手、環境、素材、持続性など、さまざまな視点からこれからの伝統やものづくりのあり方や暮らしについて考えます。

1部

90分 | 会場受講+オンライン |  
講師からのレクチャーののち、ディスカッション

2部

30分 | 会場受講のみ |  
交流会

1

### フィールドワークデザイン

日時: 11月4日(金) | 19:00~20:30 | 会場: (PLACE) by method [東京都]

講師: 吉田 勝信 (デザイナー)

山形を拠点とする吉田さんは、山や森をフィールドに、その土地がもつ魅力に目をむけ、そこにある価値を自分自身の手でもものに反映させています。生活や仕事、風習などを分断せずものをつくること、多様な人が関わることを前提としたものをつくる方法を学びます。

2

### ものを買う動機

日時: 11月5日(土) | 19:00~20:30 | 会場: (PLACE) by method [東京都]

講師: 山田 遊 (株式会社メソッド代表取締役)

人はどのような動機でものを購入するのでしょうか。国立新美術館をはじめとしたミュージアムショップなどの企画、「燕三条 工場の祭典」といった産地を振興するイベントなどの企画などを行う山田さんから、ものをつくる、売る、伝えるブランディングを学びます。

3

### ネイティブの可能性

日時: 12月16日(金) | 18:00~19:30 | 会場: 京都伝統産業ミュージアム [京都市]

講師: 白水 高広 (株式会社うなぎの寝床代表取締役)

土地に根付いてうまれてきたものを流通させ、交流の機会をつくり、風景をつなぐ地域文化商社「うなぎの寝床」。ものの魅力を伝える店の運営のほか、九州を拠点にあらたに文化や人に触れるツーリズムを行い、文化と風景をつなぐ循環を生み出しています。地域を循環させるネイティブスケープの意味、可能性を考えます。

4

### 福祉と玩具

日時: 12月17日(土) | 18:00~19:30 | 会場: 京都伝統産業ミュージアム [京都市]

講師: 軸原 ヨウスケ (デザイナー、COCHAE/ドンタク玩具社)

私たちの生活に長く受け継がれ、愛でられてきたもの。軸原さんはそうしたものを発掘し、今に伝えるプロダクトをつくっています。郷土玩具や民藝の周辺にあるものたちと、福祉のものづくりの共通性やこれからのかわりについて考えます。

5

### 循環・再生と伝統

日時: 12月20日(火) | 18:00~19:30 | 会場: 京都伝統産業ミュージアム [京都市]

講師: 本間 智希 (建築史家、北山舎代表)  
矢津 吉隆 (美術家・kumagusuku 代表、副産物産店共同代表)

京都北山の文化遺産を保全し、資源循環を目指す北山舎、アーティストのアトリエからでる不要品や廃材を副産物とよび、そこから新たな価値を与える副産物産店。それぞれの活動をすすめる本間さん、矢津さんとともに、ものや地域の循環と未来のものづくりを考えます。